

## 2022 年度第 3 回音環境運営員会議事録（案）

記録：河原塚透（幹事）

日時：2022 年11月8日（火）17:00～19:00

場所：Zoom を用いたリモート会議

出席者：坂本慎一（主査）、平栗靖浩（幹事）、會田祐、池上雅之、石渡智秋、佐久間哲哉、佐藤洋、辻村壮平、  
富来礼次、富田隆太、中川武彦、中澤真司、羽入敏樹（前主査）、浜田幸雄、平光厚雄、星和磨（敬称略）

欠席者：河原塚透、古賀貴士、杉江聡（敬称略）

提出資料：

2022年度第3回議事次第

資料3-0 2022年度第2回音環境運営委員会議事録（案）

資料3-1(1) 環境工学本委員会（第3回）議題

資料3-1(2) 環境工学本委員会（第3回）資料

資料3-1(3) No. 3-9（若手優秀発表選考結果）

資料3-1(4) No. 3-15（回覧資料）

資料3-2 No. 3-19（別冊資料）

議題：

前回議事録（2022年度第2回）を確認し、軽微な修正後承認された。（資料 No.3-0）

### 1) 環境工学本委員会の報告（資料 No.3-1(1), (2), (3), (4)）

- ・ 2023年度大会：学術講演会電子投稿の締切4月4日、プログラム編成4月19日～26日、大会開催9月12日～15日（京都大学吉田キャンパス）、対面方式で行う方向
- ・ 小委員会活動成果報告提出依頼：年明け2月15日が締め切りとなっているため、各主査は、2月10日までに各書式を所定フォルダに提出のこと
- ・ 環境工学連合講演会：2023年5月30日、日本学術会議講堂、コロナ禍からの復興がテーマ
- ・ 建築学会大賞：昨年同様に音からは橘先生、熱と設備の合同推薦として石野先生（都立大）、投票を行い38：62で石野先生を環境工学から推薦することとなった。来年も継続して橘先生を推薦。
- ・ 建築学会奨励賞選考委員会委員推薦：環境工学から2名、内音環境から1名推薦する必要がある。これまで、安田先生、辻村先生、大嶋先生が歴任
- ・ 論文集委員会委員推薦：音環境は豊田先生が委員のため、推薦の必要なし。これまで、平栗先生、辻村先生、富田先生、星先生、岡田先生、穴井先生が歴任
- ・ 技術報告集委員会委員推薦：佐藤（逸）先生が退任のため、代わりに1名推薦が必要。これまで、奥園先生、富来先生、安田先生が歴任
- ・ 2022年度大会若手優秀発表選考結果：審査対象と選考数の比率、音環境は10.7%、その他も概略10%程度。学術推進委員会で承認後、HPで発表。賞状は郵送
- ・ 2023年度大会OSテーマ：音環境は「音環境数値シミュレーションの新展開 2023」音響数値解析小委員会が担当
- ・ 2023年度大会細分類・細々分類：音環境は変更なし
- ・ 2023年度大会研究協議会企画案：テーマ「コロナ危機をもたらす建築環境工学の新たな展開」、案が示されたが発表件数が多いという意見があり、再検討中
- ・ 2023年度若手優秀発表賞選考方法：音環境は修正せず例年通りとすることが確認された
- ・ AIJESの総則等改訂の件：実態に合わせてフロー図など修正。改定、確認、廃止について定めを加筆など
- ・ 刊行企画：電磁環境1件（教材、新刊）、光環境2件（AIJES、改訂）
- ・ 2023年度環境工学委員会予算配分方針：活動状況により比率を決めている、音環境は配分額(案)498,000円、前年度比+44,000円、実情はコロナ禍のため旅費が使われていないため予算は消化されていない
- ・ 催し物実施計画：今回、音環境はなし
- ・ 委員の委嘱・解嘱：今回、音環境はなし

- ・ 環境工学本委員会委員長選挙の件：3月に選挙
- ・ 小委員会・ワーキンググループ廃止/設置申請：音環境では2年たつものが多く、小委員会廃止6、WG廃止3となるが、小委員会設置6、WG設置2。

## 2) 審議事項

- ・ 奨励賞選考委員会委員の推薦：平栗先生を推薦
- ・ 技術報告集委員会委員の推薦：第一候補\_森原先生。第二候補\_大谷先生、第三候補\_井上先生、第四候補\_原田先生。→森原先生を推薦することとした。
- ・ WG廃止申請、設置申請について：（資料 No.3-2）
  - 音環境運営委員会：設置間\_2023年4月～2031年3月、主査\_未定、傘下WG\_企画・広報WG、実用的遮音計算方法WG
  - 固体音小委員会：設置間\_2023年4月～2027年3月、主査\_平光さん、床衝撃音遮断性能に関する予測手法および測定時における課題など検討、1名公募予定
  - 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会：設置間\_2023年4月～2027年3月、主査\_濱田先生、AIJESを念頭とした集合住宅の遮音性能の測定法、評価方法について中立的立場から検討。数名公募予定
  - 建築音響測定法小委員会：設置間\_2023年4月～2027年3月、主査\_會田さん、建築音響に関する測定方法について調査・検討、建築音響測定分野と数値解析分野の協働に関する検討。
  - 室内音響小委員会：設置間\_2023年4月～2027年3月、主査\_上野先生、オーディトリウム以外での室内音響に関する社会の知名度、価値を高めるための活動。傘下WG\_室内音響啓発コンテンツ企画WG、吸音設計AIJES検討WG
  - 音響数値解析小委員会：設置間\_2023年4月～2027年3月、これまでの活動を踏襲、主査\_安田先生、1名公募予定、量床衝撃音の数値解析検討WGを設置
  - 音環境規準検討小委員会：設置間\_2023年4月～2027年3月、主査\_池上さん、AIJESの作成・展開が円滑となるための支援活動、傘下WG\_集合住宅音環境AIJES検討WG
- ・ 室内音響小委員会からの提案：子どものための音環境WGを廃止とするが、子どものための音環境計画の普及のためには、室内音響にとどまらず、建築音響全般、設計者、さらに幼児・学校教育、特別支援教育分野、行政までを視野にいたした包括的な行動計画が必要なため、分野横断的な検討ができる運営委員会傘下のWGとして設置申請することが提案された。以下意見など
  - スケジュール感、WGとしての成果、ゴールを明確にしないと難しいのでは
  - 小委員会化の話もあったが、音環境運営委員会の大きな議題となるため詳細計画が練られていない中で難しいのでは
  - 子どものための音環境は重要な課題であるので小委員会、WGとして必要であると考えているが、本来音環境運営委員会で議論を深めた後、必要とされてから小委員会、WGを立ち上げるのが筋と考えるので手続き上の違和感がある。もう少し運営委員会の中で議論の成熟が必要では
  - WGを廃止しているのでどこかで活動できるようにする必要がある。どういう形が一番活動しやすいのかももう少し議論した方が良い。主査が長年続く弊害もある
  - 主査が長年続くことに関しては、短年で道筋を付け、それ以降は他の方が主査を引き継ぐ考えである
  - 今後の課題ではあるが音環境運営委員会の小委員会再編も視野に入れる必要があるのではないか
  - 次回、主査を交えて議論したいが、4か月空いてしまうので、道筋などを明確にしてもらい音環境運営委員会傘下のWGを視野に入れた方向性などをメール審議とする

## 3) 各小委員会・WGの活動報告

### ① 固体音小委員会

- ・ 第3回を10月7日に開催。インターノイズ2022セッションの紹介、国総研で実施中のプロジェクト（品確法の重量床衝撃音に関する検討）紹介、来年度の活動計画等に関する討議など。

### ② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

- ・ 外壁開口部の遮音設計における付加騒音源、鉄道騒音に適した測定量を検討するための聴感実験を実施中。次回は12月中旬に開催予定

### ③ 建築音響測定法小委員会

- ・ 第3回を9月29日に開催。ICAに投稿した音響エネルギー密度実験に関する紹介、現場における低音域の室内音場の評価に関する実験に関する討議、数値解析結果を踏まえた実験を11月21日、22日に長谷工の技研にて実施予定。次回を12月7日に開催予定

### ④ 室内音響小委員会

- ・ 10月14日開催。吸音設計AIJES検討WGの報告内容について討議、子どものための音環境WGの方向性について意見交換、来期の活動計画について討議
- ・ 子どものための音環境WG：11月7日に開催、来期の活動計画について討議
- ・ 啓発コンテンツWG：11月27日に開催予定。会議室の吸音について内田洋行見学予定
- ・ 吸音設計AIJES検討WG：次回11月28日開催予定

### ⑤ 音響数値解析小委員会

- ・ 第2回委員会を10/4に実施。10/6に実施する第2回チュートリアル実施内容の最終確認。WG設置に関する議論と来年度設置の承認。来年度OS担当の確認と発表者・スケジュール案について次回委員会で議論することを承認。主査を来年度から現幹事の安田先生に交代することを承認。
- ・ 10/6（木）第2回チュートリアルの実施。参加申込者85名。
- ・ 次回委員会は12/23（金）を予定

### ⑥ 音環境規準検討小委員会

- ・ 第4回を11月7日に開催、事務所のAIJESの刊行を目指して、何を取り扱うかを様々な切り口で議論中。次回は1月10日開催予定
- ・ 集合住宅音環境AIJES検討WG：11月6日に第5回WG開催、WG内である程度の共通認識ができた。広く意見を聞くため、11月25日にオンラインでオープンな意見交換を行う予定。

### ⑦ 企画・広報 WG

- ・ 9月30日に幹事団でアンケート内容について打ち合わせを実施、11月25日にWGを開催し、アンケート内容をつめる予定、12月中にメンバーと近い方を対象として下アンケートを行い、その後運営委員会と小委員会の委員などを対象としてアンケート実施予定。

### ⑧ 実用的遮音計算方法WG

- ・ 第3回を9月28日に開催、「実務的騒音対策指針」「建物の遮音設計資料」の遮音部分などでエッセンスを今の時代に合う形で構成し直したテキストを作成予定、遮音、騒音伝搬を主に、防振計算、固体音伝搬などを含めたパイロット原稿を作成し議論。第4回を11月30日に開催予定

### ⑨ その他

- ・ 司法支援建築会議講演会 12月9日 13:00～ 建築会館ホール・オンライン 「自然災害を巡る建築紛争の予防と対応」 参加募集中

## 4) 各他学会・研究会の予定

- ① 日本音響学会・建築音響研究会：11/15 一般（東大生研で騒音振動研究会との共催）、12/8 学校音響、1/20 一般、2月休会
- ② 日本音響学会・騒音振動研究会：11/15 一般（東大生研で建築音響研究会との共催）、12/12 音デザインとの共催、1/18 音の伝搬・一般、2/9 機械学会との共催、3月未定
- ③ 音響学会23年春季研究発表会：申し込み11/7～

## 5) その他

- ・ 来年度の大会が対面で開催予定、例年音環境の割り当てられる部屋が狭いので環境工学内で配慮いただけるようお願いした。国立大学の使用料が高騰し全体のキャパシティに限られる中、要求が通るかどうかは未確定。

## 6) 次回以降の予定

第4回：2023年3月2日（木）17:00-19:00（本委員会 3/2）

以上